

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-14 目黒区役所

平野 武宏



昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

本来ならば今回は 9 番目の品川区ですが、品川区役所食堂の改修工事が 5 月中旬まで続くので、繰り上げて 10 番の目黒区です。

このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

【目黒区総合庁舎 本館・別館】 目黒区上目黒 2-19-15

最寄駅 東急東横線 中目黒駅

目黒区は 1932 年（昭和 7 年）目黒町と荏原郡碑衾町の 2 町の区域をもって東京市目黒区となりました。目黒の区名の由来については「目黒区史」にある馬畔（めぐろ）が通説とのこと。牧場を管理する者が畦道を通って馬を見回り、そのあぜ道の内側を自分の縄張りとしていたというものです。又、「郷土目黒」では目黒不動がその名の由来であると説いています。目黒不動は 808 年（大同 3 年）に創建された古刹です。「山の手の目黒」と言われるようになるのは、関東大震災によって都市部が破壊され、「郊外電車」と呼ばれた私鉄が発達して宅地化が進むようになってからだそうです。

1896 年（明治 29 年）にはビール工場、1907 年（明治 40 年）目黒競馬場 [1933 年（昭和 8 年）に廃止] が開場、1929 年（昭和 4 年）東急東横線

が開通しています。

中目黒駅から案内表示に沿って中目黒GTビルの手前を通り、目黒銀座商店街を抜けると総合庁舎本館西口です。目黒総合庁舎(写真右)は1966年(昭和41年)竣工され、2000年に破たんした旧千代田生命保険ビルを区が買い取り、改修、2003年(平成16年)1月本館(地上6階建、地下3階)、4月には別館(地上9階建)が業務開始しています。1Fの右手奥にレストランがあります。営業時間は11時～14時です。

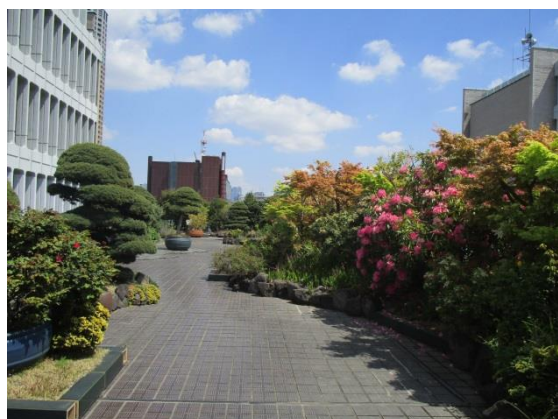


写真下左はAランチ 660円、写真下右は日替わり丼(カツ丼)560円



メニューは日替わりでAランチ 660円、Bランチ 620円、Cランチ 560円、日替丼 560円、スペシャル麺 440円、弁当 560円、定番メニューとしてそば・うどん 330円～410円、ラーメン 330円～400円、ミニカレー 230円、メガカレー 780円、メガカツカレー 890円、ミニ丼 350円、ミニ丼セット 720円、ミートスパゲッティ 550円です。

写真右は今では寅次郎に無用となったメガカレーです。本館R階に「目黒十五(とうご)庭」(屋上庭園)があると知り、上がりました。庁舎を建築した村野藤吾(とうご)の名前にもちなんでいるとか。東京農大の協力を得た、こじんまりした庭園で右側の芝生エリアには狸がのんびりと寝ていました。



目黒区役所でいただいた「目黒観光ガイド」では田園都市線・井の頭線エリア、東横線・日比谷線エリア（中目黒・祐天寺・学芸大学エリア）、（都立大学・自由が丘エリア）、山手線目黒駅・目黒通りエリア、目黒線・大井町線エリアの5つのエリアで紹介しています。

「寅さん歩」で紹介した目黒区は次の通りで、番号は「寅さん歩」の目次番号です。

江戸五色不動めぐり：10、東京の富士塚めぐり：28、健康ご利益めぐり：39、41
東京の桜：47、167、205、江戸・東京の祭：77、79、87、お江戸の閻魔大王：149
江戸・東京の百名山：138、東京にこんなところ：150、お江戸の時の鐘：175
東京の学食めぐり：195、

目黒区の木は「シイ」、花は「ハギ」、鳥は「シジユウカラ」です。

[バーチャルウォーク 途中経過]

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした
聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、
福岡県、山口県を経て広島県に入りました。
2019年5月7日現在、スタートから834Km地点を
通過しました。5月1日からの「令和」は807Km
地点で迎え、これからは尾道市へ向かいます。



ウォーキングでは人や自然との「出会い・ふれあい」が沢山あります。
寅次郎も「映画の寅さん」に負けない、多くの人との出会いがありました。
ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

[寅次郎がウォーキングで出会った人ー13]

～ 青森の女寅次郎です ～

寅次郎、FWAの会員（寅次郎が勝手に大和グループ
と名付けた大和在住のテニスの仲良しグループ）から
「青森ツデーマーチ」に参加した際に、お世話になった
青森の女性がいて全国を歩いている人なので、どこかで
お会いしたら会長からお礼を言ってください」と頼まれて
いました。2004年の「第4回瀬戸海しまなみ海道スリー
デーマーチ」でのドラマチックな出会いでした。



第1日目の生口島戸田町のゴール近くで前を颯爽と歩く女性のゼッケンに
「青森から参加」と書いてありました。

寅次郎、声をかけると、なんという事でしょう、探していた人 **古川君子さん** ご本人でした。青森でF W A会員がお世話になったお礼を言い、お話を伺うとご主人を青森に残し、全国を歩き回っている同い年のウォーカーと知りました。寅次郎うれしくなり、ひそかに「**青森の女寅次郎**」と命名しました。その後、各地のウォーキング大会でも再会、もちろん青森の大会へも参加、お会いしました。



1991年（平成3年）グラフィックデザイナーのご主人がアイデアが浮かばなくなったから仕事を辞めたいと故郷青森へUターンを決め、東京から移住したそうです。ウォーキングを始めたきっかけは市の健康診断で「骨粗しょう症」と言われ、「どうしたもんか」とご主人に相談したら「歩きなさい」と言われ15年歩いているうちに改善したとのこと。今では医師から「背骨がとてもきれいな状態で素晴らしい」と褒められているようで、移住当時は驚いた冬の日課の雪かきも苦にならないとのこと。ご主人は釣りに、彼女はウォーキングを楽しんで過ごしているそうです。東京で受けた歯の治療の継続で東京に出て来る機会があること、全国で知り合ったF W Aの多くのお友達が出来たことで**2005年5月F W A**に入会されました。F W Aには**県外会員**と称する方が**19名**（2018.2月末現在）いますが、最北端に住む会員です。県外会員は**全会員439名**の約**4.3%**に当たり、F W Aの人気を表しています。

「**青森の女寅次郎**」との出会いは**第2幕**がありました。

寅次郎、2012年8月に東京都豊島区北大塚に転居、**県外会員**になりました。彼女が東京の歯医者に来る時の常宿はなんと大塚駅前のホテルで寅次郎の住まいのすぐ近く、東京でもお会いすることが出来ました。日本橋の歯医者にはホテルから約10kmを歩いて行くとのこと。「**青森の女寅次郎**」の名は間違っていないでした。

今回は **官公庁の食堂めぐり-15 大田区役所**です。

平野 寅次郎 拝